

2023 年度「学修成果等アンケート」結果

IR 推進本部長

1. アンケート概要

(1) 調査目的

学生の学修時間、成長実感・満足度及び学修に対する意欲等を継続的に把握し、学修成果及び教育成果を可視化することにより、学生が自身の学修内容や成果を振り返り次の学びに繋げるため、また、次年度以降の教育改善を図るために実施した。

(2) 調査対象

全学部在学生

(3) 実施期間

2024 年 1 月 15 日(月) ～ 1 月 27 日(土)

(4) 調査方法

実施期間中の任意の時間に manaba にログインし、「学生 manaba Information」の「アンケート」から回答させた。

(5)アンケート項目

1. 学部(学科)を選択してください。
2. 学年を選択してください。

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか？

(選択肢:①よくあった、②ある程度あった、③あまりなかった、④なかった)

3. 理解がしやすいように教え方が工夫されている。
4. 事前・事後学修など授業時間外に行うべき学修が指示されている。
5. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。
6. グループワークやディスカッションの機会がある。
7. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。
8. ティーチングアシスタントによる補助的な指導がある。

問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか？

(選択肢:①有用だった、②ある程度有用だった、③あまり有用ではなかった、④有用ではなかった、⑤経験していない)

9. インターンシップ
10. ボランティア活動
11. 海外留学・海外研修(短期も含む)
12. 主に英語で行われる授業の履修(語学科目を除く)

問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか？

(選択肢:①身に付いた、②ある程度身に付いた、③あまり身に付いていない、④身に付いていない)

13. 専門分野に関する知識・理解
14. 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観
15. 文献・資料を収集・分析する力
16. 論理的に文章を書く力
17. 人に分かりやすく話す力
18. 外国語を使う力
19. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能
20. 問題を見つけて解決方法を考える力
21. 多様な人々と協働する力
22. 幅広い知識、ものの見方
23. 異なる文化に関する知識・理解

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか？

(選択肢:①そう思う、②ある程度そう思う、③あまりそうは思わない、④そうは思わない)

24. 大学から卒業時まで学生が身に付けるべき知識や能力が明示されている。
25. 授業評価アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。
26. 教職員が学生と向き合って教育に取り組んでいる。
27. 大学での学びによって成長を実感している。
28. 大学での学びに満足している。

問5 今年度の授業期間中の【平均的な1日】の学修時間は、それぞれどのくらいですか？

(選択肢:①30分未満、②30分以上1時間未満、③1時間以上2時間未満、④2時間以上3時間未満、⑤3時間以上)

29. 授業への出席(実験・実習、オンライン授業を含む)

30. 【4年生のみ回答】卒業論文・卒業研究・卒業制作

31. 事前・事後学修、課題など授業に関する学修(卒業論文等は除く)

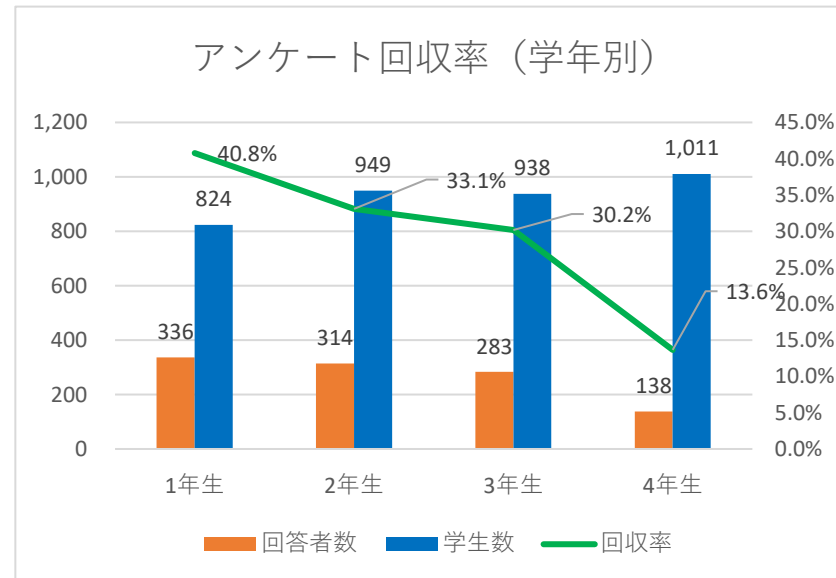
32. 授業と直接関係しない自主的な学習(学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等)

問6 本調査や、大学での学びについて意見がありましたら教えてください。(自由記述)

2. 回収率

(1) 学年別

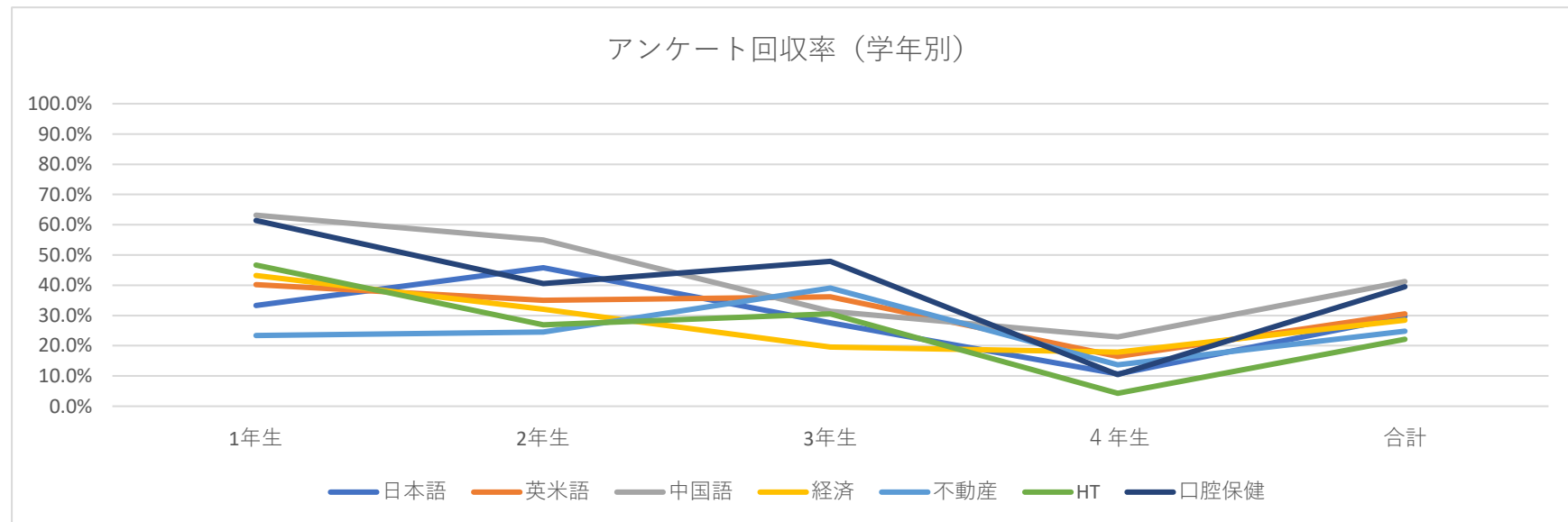
学年	回収率	回答者数	学生数
1年生	40.8%	336	824
2年生	33.1%	314	949
3年生	30.2%	283	938
4年生	13.6%	138	1,011
合計	28.8%	1,071	3,722



1年生が40.8%と高く、学年進行によって減少する(4年生の13.6%は1年生の約1/3)

(2) 学科学年別

学科	1年生	2年生	3年生	4年生	合計
日本語	33.3%	45.8%	27.6%	10.7%	29.7%
英米語	40.2%	35.0%	36.2%	16.5%	30.5%
中国語	63.2%	55.0%	31.4%	22.9%	41.2%
経済	43.2%	32.0%	19.6%	17.9%	28.4%
不動産	23.3%	24.5%	39.1%	13.7%	24.8%
HT	46.7%	26.9%	30.5%	4.3%	22.1%
口腔保健	61.4%	40.5%	47.9%	10.4%	39.5%



- 学科別では HT 学科 (22.1%)～中国語学科 (41.2%)と差が大きい。
 学科別でも、学年進行による回収率の減少傾向がみられる。

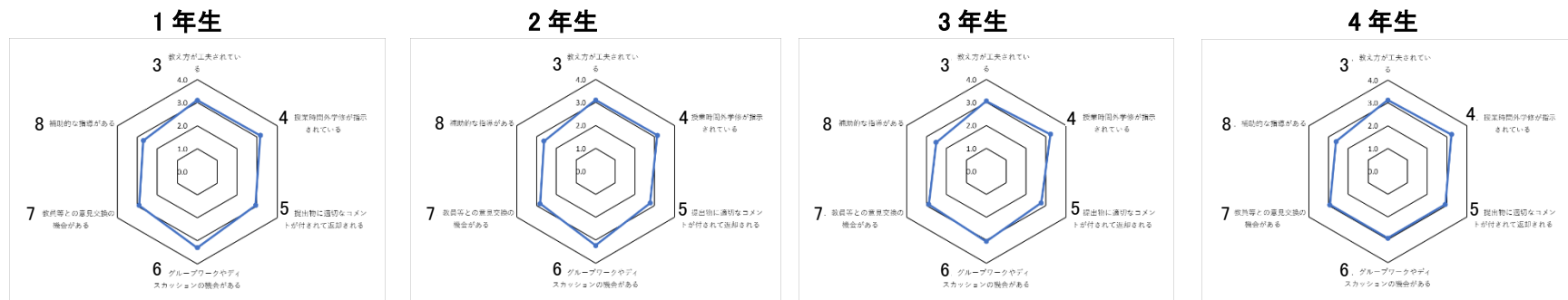
3. 調査結果

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか？

3. 理解がしやすいように教え方が工夫されている。
4. 事前・事後学修など授業時間外に行うべき学修が指示されている。
5. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。
6. グループワークやディスカッションの機会がある。
7. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。
8. ティーチングアシスタントによる補助的な指導がある。

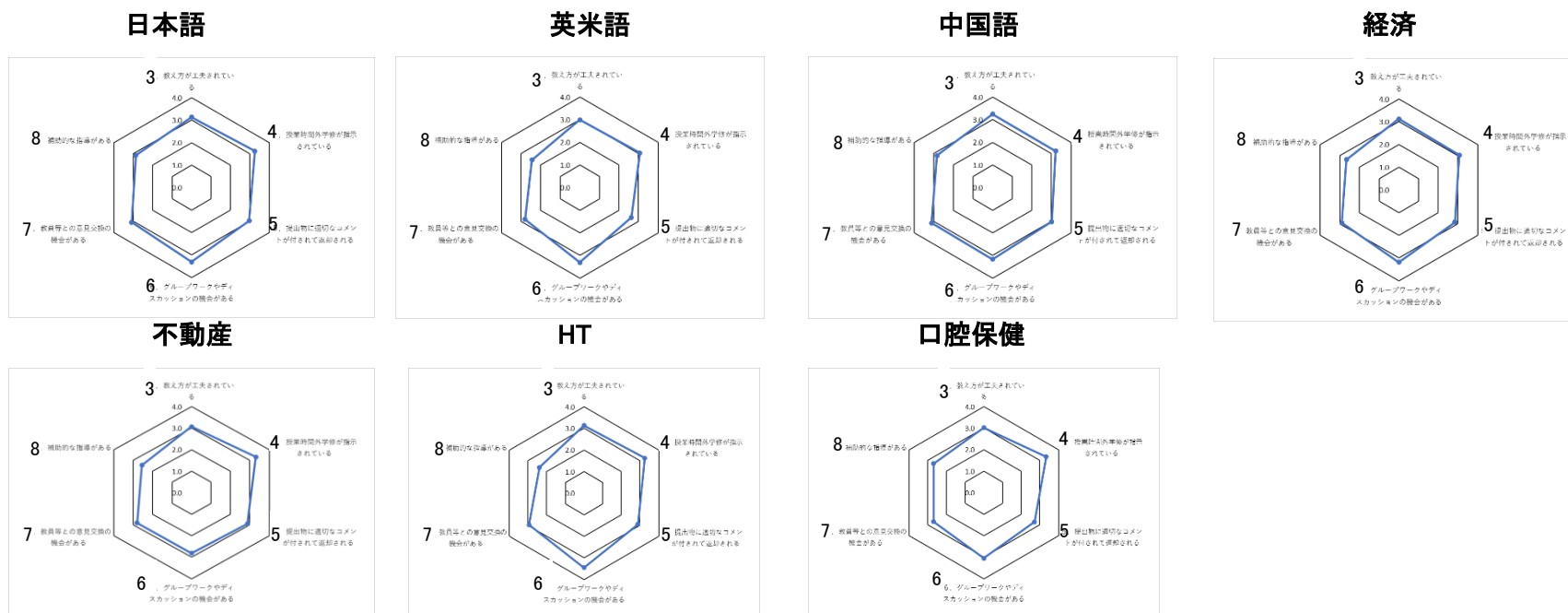
・よくあった(4点)、ある程度あった(3点)、あまりなかった(2点)、なかった(1点)での平均値(4段階)を記載

【学年別】



- ☛ 学年間の差はみられない。項目別では「4. 事前・事後学修など授業時間外に行うべき学修が指示されている」(3.19)の平均値が高い値を示しており、manaba 等による「反転学習」が徹底されていることが伺える。(その他 6. グループワーク等は高め、8. TA は低い)

【学科別】



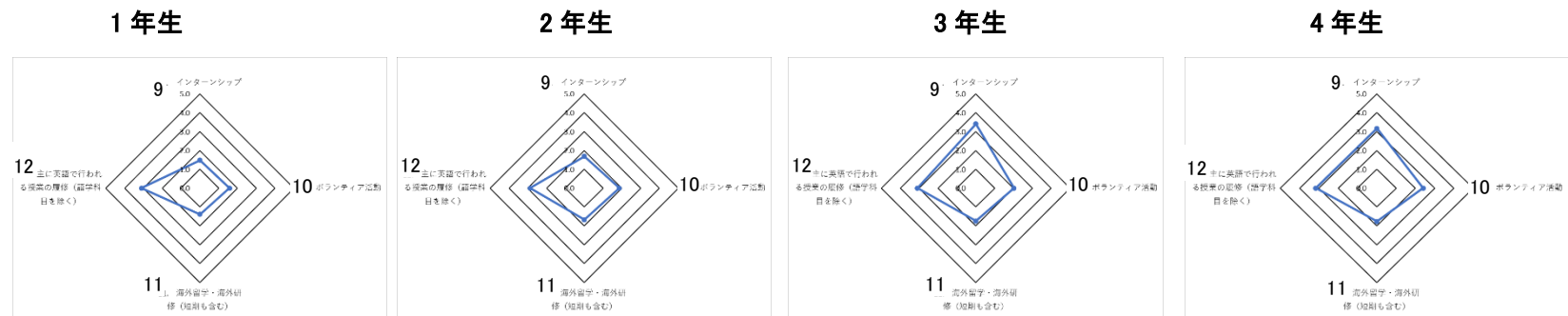
- 8. TA 以外に学科間の差はみられない。項目別では、「4. 事前・事後学修など授業時間外に行うべき学修が指示されている」(3.22)、「6. グループワークやディスカッションの機会がある。」(3.18)の平均値が高い値を示している。

問2 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか？

- 9. インターンシップ
- 10. ボランティア活動
- 11. 海外留学・海外研修(短期も含む)
- 12. 主に英語で行われる授業の履修(語学科目を除く)

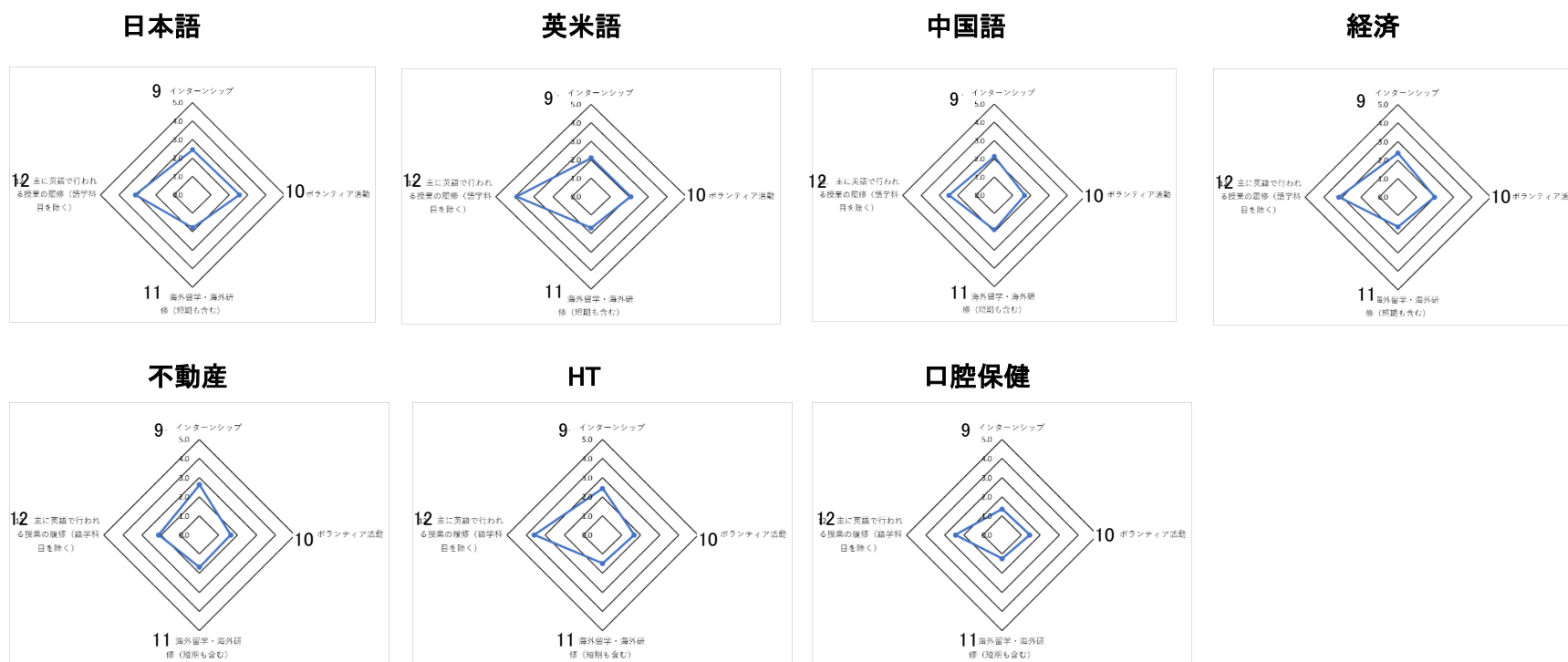
・有用(5点)、ある程度有用(4点)、あまり有用ではない(3点)、有用ではない(2点)、経験がなかった(1点)での平均値(5段階)を記載

【学年別】



☛ 「9. インターンシップ」は行っていない学生が1となっており、学年の進行に比例して値が上昇する傾向にある。

【学科別】



- 「11. 海外留学・海外研修(短期も含む)」「9. ボランティア」の値がどの学科も低いのも行っていない学生(1)が多いため。
「12. 主に英語で行われる授業の履修(語学科目を除く)」の平均値は、英米語学科(3.91)及び HT 学科(3.58)で高い値を示しており、カリキュラムの特色が表れている。

(参考)3年生のインターンシップ、海外研修の参加者のうち有用だったと回答した比率は以下の通り。

インターンシップ 日 86% 英 91% 中 67% 経 86% 不 92% HT93% 保 83% 全体 88%

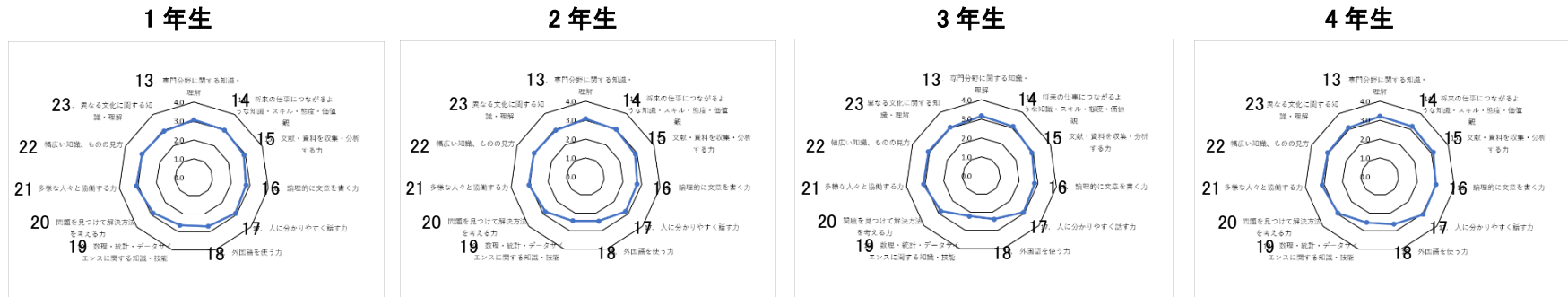
海外研修 日100% 英 70% 中 50% 経 65% 不 67% HT89% 保 33% 全体 69%

問3 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか？

13. 専門分野に関する知識・理解 14. 将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観 15. 文献・資料を収集・分析する力
 16. 論理的に文章を書く力 17. 人に分かりやすく話す力 18. 外国語を使う力 19. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能
 20. 問題を見つけて解決方法を考える力 21. 多様な人々と協働する力 22. 幅広い知識、ものの見方 23. 異なる文化に関する知識・理解

・身についた(4点)、ある程度あった(3点)、あまりなかった(2点)、なかった(1点)での平均値(4段階)を記載

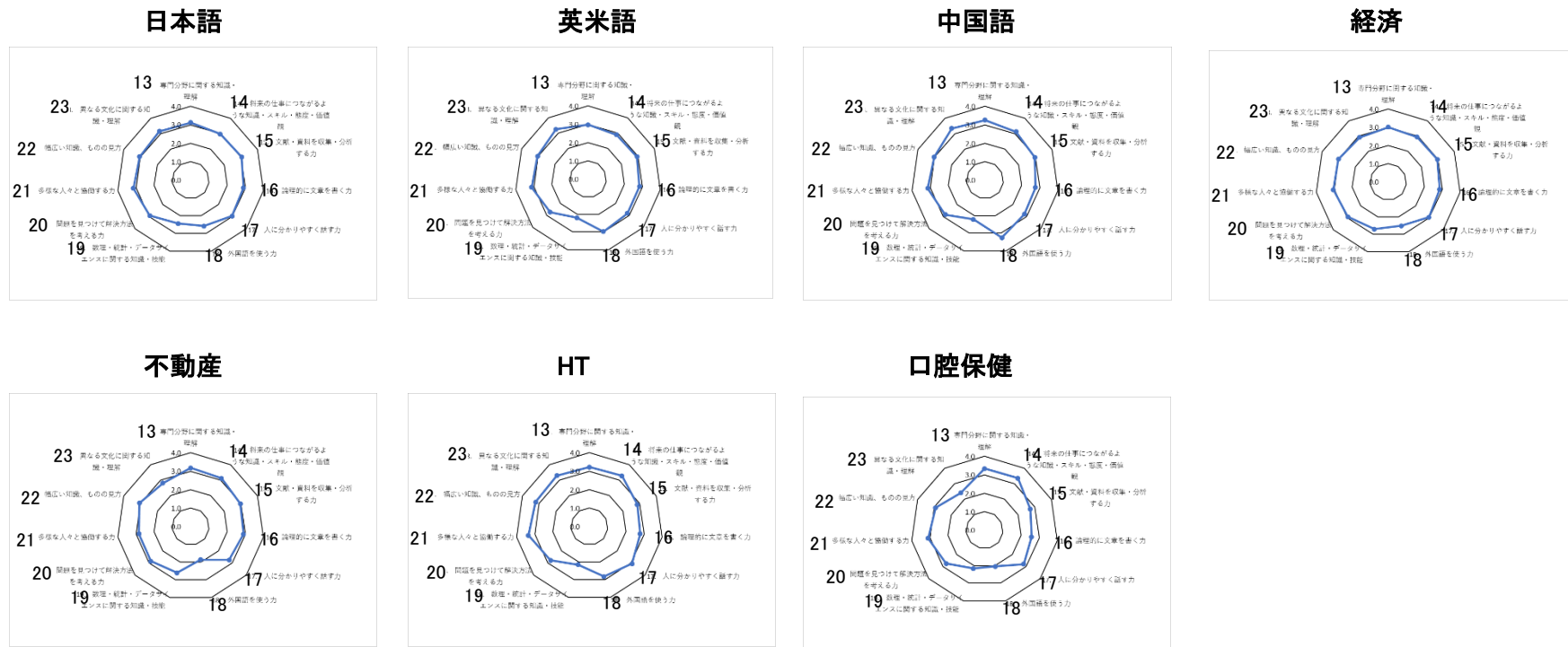
【学年別】



☛ 学年間による差はみられなかった。

「13. 専門分野に関する知識・理解」(3.13)及び「21. 多様な人々と協働する力」(3.08)の平均値が高い一方、「19. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能」(2.46)及び「18. 外国語を使う力」(2.54)の平均値が低い値を示している。

【学科別】



- 「13. 専門分野に関する知識・理解」(3.16)及び「21. 多様な人々と協働する力」(3.10)の平均値が高い一方、「19. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能」(2.36)及び「18. 外国語を使う力」(2.59)の平均値が低い値を示しており、学年別と同じ傾向がみられる。学科の特徴としては、19は経済、不動産がやや高め、18は英米語、中国語、HTが高め、23は口腔保健が低め、と出ている。

問4 これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか？

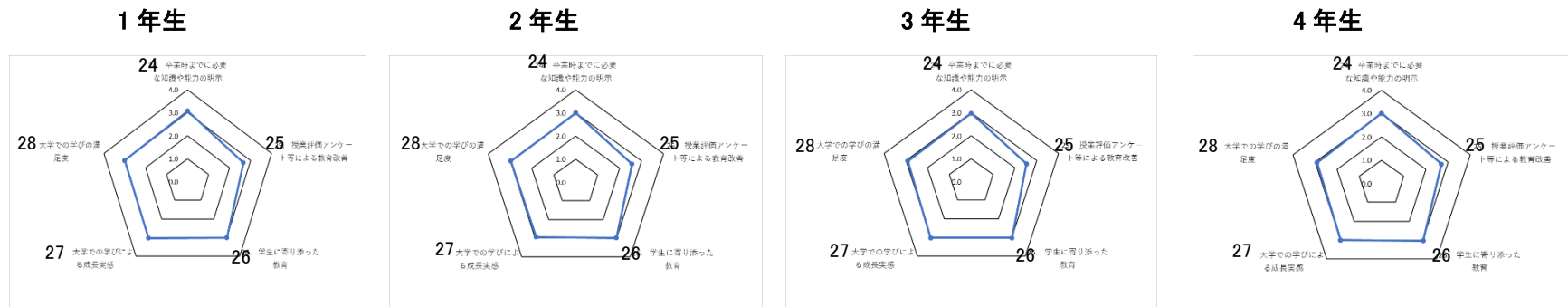
24. 大学から卒業時まで学生が身に付けるべき知識や能力が明示されている。

25. 授業評価アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。 26. 教職員が学生と向き合って教育に取り組んでいる。

27. 大学での学びによって成長を実感している。 28. 大学での学びに満足している。

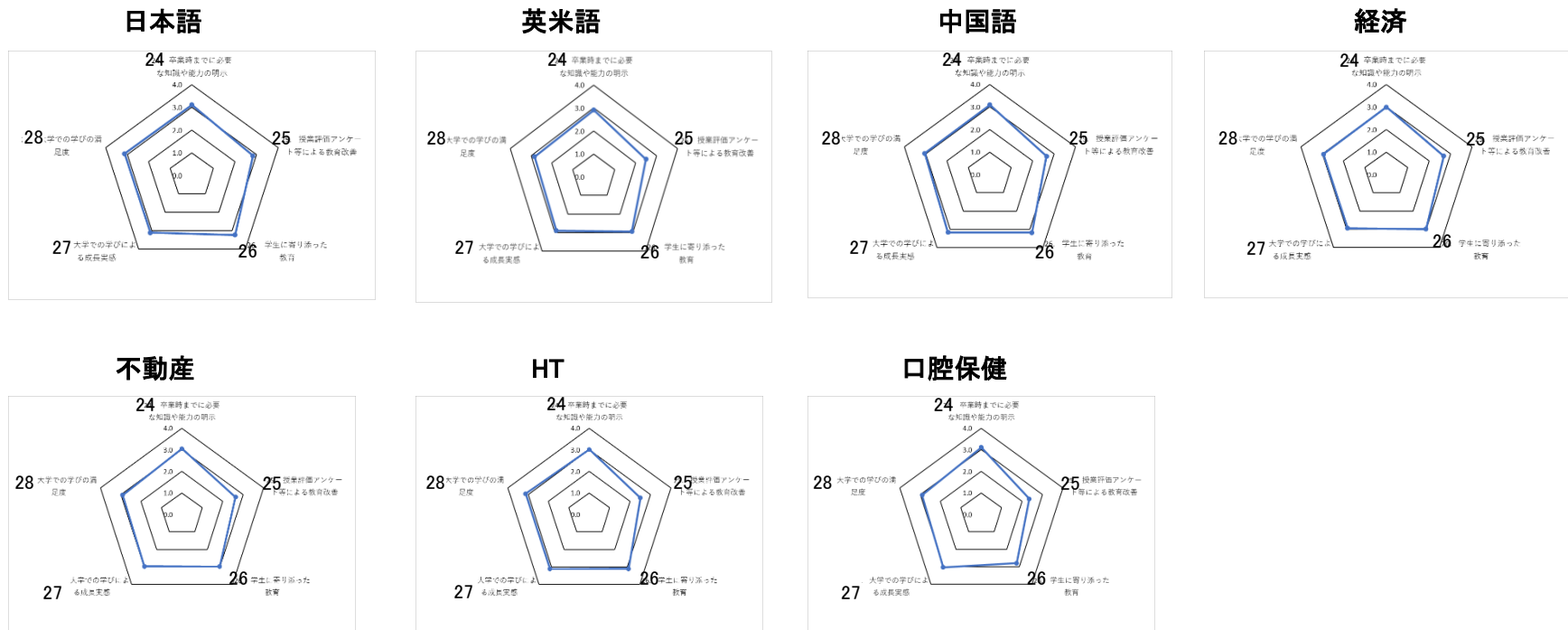
・そう思う(4点)、ある程度思う(3点)、あまり思わない(2点)、思わない(1点)での平均値(4段階)を記載

【学年別】



☛ 学年間による差はほとんどみられなかったが、「25. 授業評価アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。」(2.61)の平均値がやや低い値を示している。
本アンケートも含め学生へのフィードバックに課題がある。

【学科別】



- ▶ 学年別と同様に学科間による差はほとんどみられず、「25. 授業評価アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。」(2.59)の平均値がやや低い値を示している。

問5 今年度の授業期間中の【平均的な1日】の学修時間は、それぞれどのくらいですか？

29. 授業への出席(実験・実習、オンライン授業を含む)

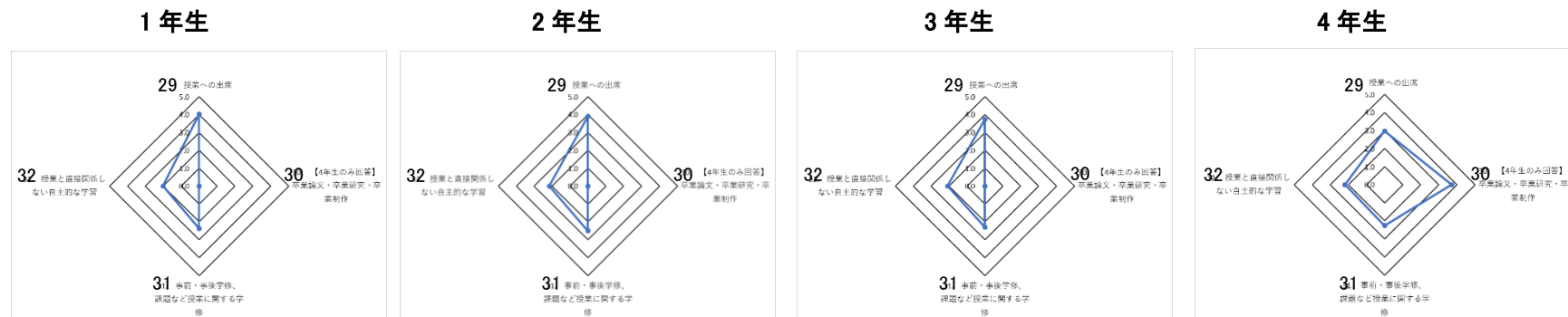
30. 【4年生のみ回答】卒業論文・卒業研究・卒業制作

31. 事前・事後学修、課題など授業に関する学修(卒業論文等は除く)

32. 授業と直接関係しない自主的な学習(学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等)

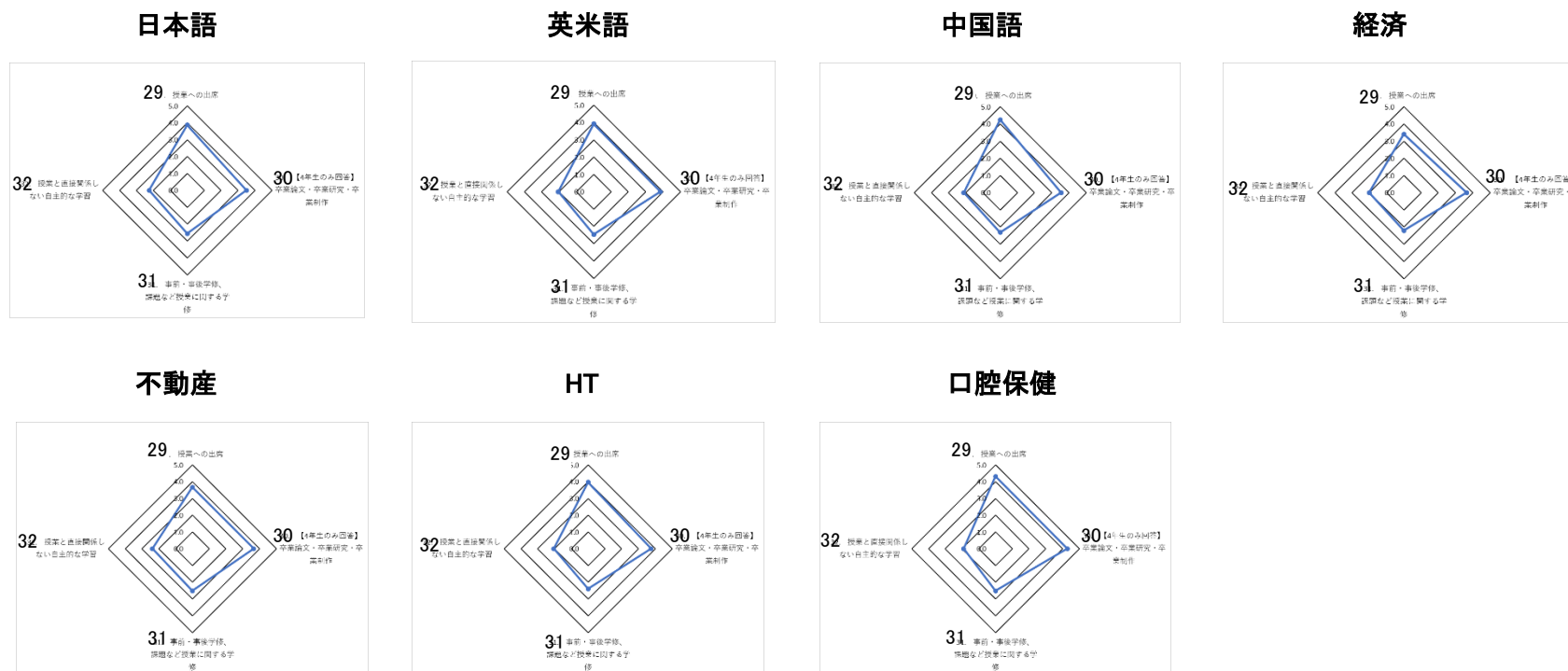
・30分未満(1点)、30分以上1時間未満(2点)、1時間以上2時間未満(3点)、2時間以上3時間未満(4点)、3時間以上(5点)での平均値(5段階)を記載

【学年別】



☛ 「30. 【4年生のみ回答】卒業論文・卒業研究・卒業制作」(3.71)及び「29. 授業への出席(実験・実習、オンライン授業を含む)」(3.65)の平均値が高い一方、「31. 事前・事後学修、課題など授業に関する学修」(2.35)及び「32. 授業と直接関係しない自主的な学習(学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等)」(2.11)の平均値が低い値を示している。

【学科別】



- 学年別同様に29、30の平均値が高い(特に口腔保健)一方、「31. 事前・事後学修、課題など授業に関する学修(卒業論文等は除く)」(2.42)及び「32. 授業と直接関係しない自主的な学習(学間に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等)」(2.11)の平均値が低い値を示している。 授業以外での学習は総じてあまりやっていない。

(まとめ)

回収率の向上と学生へのフィードバックに課題が残るため、対応を検討する。

またアンケート分析(回帰分析)の結果、特に外国語学部においては卒業までの道筋を明示することが重要であることがあらためて確認できた。各学科が何を学び、どういう力を身につけるかを、講義内やHPなどでこれまで以上に学生にわかりやすく伝えていく。

(参考)回帰分析 学生の満足 ~ 専門分野 卒業まで明示 分かりやすく話す

大学での学びに満足している

専門分野に関する知識・理解

大学から卒業時まで学生が身に付けるべき知識や能力が明示されている。

人に分かりやすく話す力

回帰統計	
重相関 R	0.94305
重決定 R2	0.88934
補正 R2	0.84784
標準誤差	0.03434
観測数	12

約89% 説明できている

分散分析表

	自由度	変動	分散	観測された分散比	有意 F
回帰	3	0.07583	0.02528	21.43133802	0.000352291
残差	8	0.00944	0.00118		
合計	11	0.08527			

分散分析結果の
p値が十分小さい

	係数	標準誤差	t	P-値	下限 95%	上限 95%	下限 95.0%	上限 95.0%
切片	-0.2895	0.14056	-2.0598	0.07338608	-0.61366027	0.03461	-0.61366027	0.03461
専門分野	0.45431	0.16013	2.83721	0.02190594	0.085059537	0.82357	0.085059537	0.82357
卒業まで明示	0.48096	0.14134	3.40294	0.00931983	0.155039047	0.80689	0.155039047	0.80689
わかりやすく	0.38133	0.12737	2.99391	0.017231017	0.087616574	0.67504	0.087616574	0.67504

t検定結果のp値が小さい
 $|p| \leq 0.05$